



開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第56号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2009年12月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

世界寺子屋運動 20 周年記念 関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 栃木

2009年10月3日、4日の2日間、足利市民プラザにおいて「2009年度関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 栃木」が開催されました。関東エリア1都5県内の各ユネスコ協会で開催されている方々が集い、テーマに沿って発表し合い意見交換、情報交換をする場としてたいへん有意義な研究会となりました。

来賓として栃木県知事、栃木県教育委員会教育長、足利市市長、足利市教育委員会教育長などを迎え、約300名が参加し『ESDとユネスコ・スクール』を主な研究テーマとし、1日目の全体会や2日目の分科会などでさまざまな意見が出され、今後の課題を浮き彫りにし、今後さらに議論が深まっていくようないい研究会となりました。

皆様からの御支援、御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(注)ESDとユネスコ・スクール・・・ESD(Education for Sustainable Development:持続発展教育)は、私たちがその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような問題をについて考え、立ち向かい、解決するための学びです。将来にわたって、持続可能な社会を構築するために、課題を知り理解し考え、行動できる人材を育てる教育がESDです。政府はユネスコ・スクールをESDの推進拠点として位置づけています。

ユネスコ・スクールは、ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践するため、国際理解教育の実験的な試みを比較研究し、その調整をはかる共同体です。現在179カ国約8,500校あります。2009年9月現在、日本では94校の幼稚園、小・中・高等学校及び教員養成学校が参加しています。

10月3日〈プログラム〉

代表者会議
オープニング (足利少年少女合唱団)
開会行事
世界寺子屋運動 感謝状贈呈式
基調講演「ユネスコ・スクール」
事例発表 (ユネスコ・スクール)
パネルディスカッション
「ESDとユネスコ・スクール」について
活動報告
交歓交流会

10月4日〈プログラム〉

*第1分科会
「未来に伝えたい地域遺産」
*第2分科会
「ユネスコ活動の充実
～世界寺子屋運動を中心に」
*第3分科会
「ESD/ユネスコ・スクール」
閉会行事
エクスカージョン
ココファームワイナリー
足利学校など

10月3日の様子



足利少年少女合唱団



代表者会議



受付

開会行事



栃木県ユネスコ連絡協議会
間宵勉会長



林明夫副会長



日本ユネスコ協会連盟
加藤玲子副会長



栃木県
福田富一知事



足利市
大豆生田実市長



文部科学省 清水宣彦補佐



東雲小学校 寺島利夫校長



シンポジウム



パネリスト



参加者の様子



寺尾名人組織部長



米田伸次理事



活動報告



国内委員会・ユネスコ運動推進員・日本ユネスコ協会連盟



栃木県内各ユネスコ協会活動報告・関東ブロック内の青年部活動報告



交流会の様子



10月4日の様子

第1分科会



第2分科会



第3分科会



閉会行事



エクスカーション



夜道の安全を守る『光のメッセージ(光り虫)』

◇楠岡巖様（四街道ユネスコ協会 顧問）から、
開倫ユネスコ協会へすばらしい賜り物が届きました！

楠岡巖氏プロフィール

楠岡巖氏は、長年にわたりユネスコ運動に取り組み、特に「世界寺子屋運動」に対する積極的な活動支援を行っております。四街道市ユネスコ協会の前会長で、現在は同協会の顧問としてご活躍です。千葉県ユネスコ連絡協議会の副会長もされており、楠岡氏が同協会会長のとき、カンボジア王国に寺子屋を2校完成させました。地元の方々から大変喜ばれました、とのことでした。



また、開倫ユネスコ協会でも行っている「平和の鐘を鳴らそう運動」にとっても熱い思いのある方で、地元子どもたちに対する平和教育を行ったり、自宅にビオトープを作って子どもたちに環境教育も行ったりしている大変に熱心な教育者です。先日四街道市の一日警察署長をされたときの記念グッズである「光り虫」を開倫ユネスコ協会に寄贈してくださいました。ありがとうございました。

一日警察署長として活躍した、楠岡巖氏からのプレゼント！

四街道市の「秋の全国交通安全運動（9月21～30日）出動式」が9月12日、同市鹿渡の大型スーパー隣の都市広場で開かれました。式典後には防犯活動キャンペーンも実施。市内に住む3人が「一日警察署長」となり、四街道署員、交通・防犯10団体、市職員など参加者約160人とともに、交通安全と振り込め詐欺、自転車盗などへの注意を呼び掛けました。

「一日警察署長」となった中学3年の高山唯花さん（15）と、高校2年の藤田竜太郎さん（16）は「交通ルールを率先して守るとともに安全な自転車運転に努め、交通安全の輪を広げていく」と力強く宣言、また高齢者を代表して「一日警察署長」となった楠岡巖さん（79）は「振り込め詐欺被害に遭わないよう、普段から家族と連携を取り合い、防犯意識を高めたい」などと述べました。

光のメッセージとは、光り虫・キャッツアイとも呼ばれていて、夜道で子どもたちを守ってくれる交通安全のためのグッズです。この光り虫の反射盤は、800メートル先にある車のヘッドライトを反射しネコの目のように光り、ドライバーに人がいることを知らせてくれるたいへんすばらしい安全グッズです。かばんなど身の回りの持ち物に付けたり、自転車などに付けたりください。



光が当たらないとき



光が当たったとき



本部校の子どもたちとともに